

取扱説明書

DAYTONA corp.

R93369①/②

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ショートケーブルセット	適応車種	商品NO.
	SR400('01~'08) SR400FI('10~'20)	93369

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

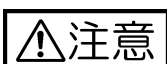
⚠警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。



ブレーキホースの取付にあたっては、設備の整ったオートバイ店や認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に作業を行っていただく必要がございます。専門外の方が作業を行った場合、怪我や重大な事故が起こる恐れがあり、大変危険です。この商品の装着作業については、専門のオートバイ店もしくは認証整備工場等へ依頼して下さい。誤った取付や不注意による事故や不具合に関しては保証の対象外となります。

 禁止	・ブレーキホース交換後は必ず、エンジンを始動せずにバイクにまたがり、ハンドルを左右にきり、ブレーキホースが挟まったり、引っ張られたりしないかを確認してください。また、他の交通が無い安全な場所でブレーキが正常に作動するかを確認してください。 ・この商品に曲げ・切削・溶接等の追加加工を行わないでください。 ・交換後、エア抜き作業は完全に行ってください。不十分の場合、ブレーキが効かず、重大な事故に繋がる恐れがございます。
--------	---



 実施	・交換の際、ガスケットは新品をご利用ください。 ・交換の際、ブレーキフルードが塗装面等に付着しないよう、十分注意してください。付着した場合、速やかに脱脂スプレーや水で十分な洗浄をしてください。 ・取付後、約 100 km 走行しましたら各部を点検し、トルクレンチにて所定のトルクで増し締めを行ってください。その後は約 500 km 毎に各部の点検、増し締めを行ってください。
--------	---

本商品の特徴

- ・安心の日本製による高精度、高品質。
- ・バンジョーフィッティング、ホースの一体成型による安全設計。

トルクについて

- バンジョーボルトは必ずトルクレンチを使用し、所定のトルクで締め付けて下さい。但し、アルミ製のバンジョーボルトの場合はアルミの材質によって強度が異なる為、スチール製のバンジョーボルトと同じトルクで締め付けた場合は折損する恐れがあります。
- スチール製バンジョーボルトはネジ径 10mm。P(ピッチ) 1.0 と 1.25 の種類がありますが、いずれも締め付けトルクは【2.5～3.0kgf.m】です。

ブレーキのエア抜き手順

- ① 作業が出来る安全な場所にバイクを移動します。
- ② キャリパー側のエア抜き用のニップルにエア抜きホース及びオイル受けを取り付けます。
- ③ マスターシリンダー側のオイルタンクにブレーキオイルを注ぎます。
- ④ ブレーキレバーを4～5回、連続して握り、レバーを握った状態でキャリパー側のニップルを緩めます。エアが抜けたら、再度ニップルを締め付けます。
- ⑤ 完全にエアが抜けるまで手順③を繰り返します。
- ⑥ エアが抜けたらオイルタンク内のオイル量を確認し、適正の量に合わせた後、フタを取り付けます。
- ⑦ ブレーキオイルが塗装面や周辺に付着していないことを確認し、作業は完了です。

東証JASDAQ上場

デイトナ

株式会社 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで